

## 第4学年〇組 道徳科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時

授業者

- 1 **主題名** 愛を伝えるとき
- 2 **ねらい** たかしが流した涙の意味を考え、話し合うことを通して、自分の成長を願って家族が愛情をもって育ててくれていることを理解し、家族の一員として家庭生活により積極的に関わろうとする態度を育てる。

**教材名** お母さんのせいきゅう書（出典：「新しいどうとく 4」東京書籍）

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容について

本時は、小学校第3学年及び第4学年の内容項目「父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。」に関するものである。内容項目は、第5学年及び第6学年の「父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことすること。」につながっていく。

人は、一人では生きていくことができない。人とのつながりの中で生まれる「愛」なしに生きていくことはできない。今回は、児童にとっていちばん強いつながりである「家族」に焦点をあてる。

今回取り上げる【内容項目C 家族愛、家庭生活の充実】は、多様な家庭状況や家族構成があり、授業で取り上げることに十分な配慮が必要となる。授業を行うにあたり、難しさを感じる。

本校では、4年生の道徳の学習において今回の内容項目は年間2回行う計画になっている。そこで、本時の前に「千春とわたし」の教材を取り上げ授業をおこなった。そこでは、家族の温かさにふれ、自分にとって「家族とは」どのようなものなのか考えさせた。「わたし」の家族を通して、児童は自分自身の家族を振り返り、自分に対する愛情ややさしさを見つめることができたようである。そこで、今回の授業では、協力し合って楽しい家庭をつくらうとする積極的な態度を育てたい。

『愛するということ』（エーリッヒ・フロム）には、「愛とは、愛する者の生命と成長を積極的に気にかけることである。この積極的な配慮のないところに愛はない。」と記されている。また「愛に配慮が含まれていることをいちばんはっきりと示しているのは、子どもに対する母の愛である。」とも記されている。積極的な配慮のある愛を、子どもから家族へ「愛を伝える」ことのできるような態度を育てることが大切となる。

#### (2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、共に声をかけあい積極的に関わりあいながら学校生活を送っている。自分がやりたいことや目標をもち、自分の考えを活発に出し合えることができる。社会科見学の実行委員活動では、担当同士の話し合いをもとに、意欲あふれる活動を行っている。また、本学年の得意なことの一つである「合唱」にも、3年生から引き続き取り組み、「みんなでやることの楽しさ」を感じる心をもっている。学校生活においては、一人ひとりの強い思いをもとに、他者を積極的に気にかける心のあたたかさに気づくことができれば、共によりよく生きるための力となる愛が確立されることになる。

道徳の授業においては、学級全体の児童の様子から自分の考えを深め、自己の生き方を究めていこうとする学習態度の様子がみられる。それらは、道徳ノートの記入の様子、道徳音読の宿題への取り組みの様子、授業中の挙手・発言、発表する児童へのまなざしなどの様子から感じることができる。これらの児童の実態

を大切に、本授業では「愛を伝える」ことについて考えさせたい。家族への愛を育てることで、人とのつながりを改めて実感する。そして、自分自身を大切にする心が広がり、自己マスターの育成につながっていくと考える。

### (3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、「たかし」が母親に手伝い等の支払いを求めた請求書を渡し、母親からも「たかし」に請求書が届く。母親からの請求書は、0円であった。「たかし」は、その請求書を何度もくりかえして読み、涙でいっぱいになるという内容である。

本学級の児童の実態を受け、主に次の場面を中心に話し合う。

#### ①たかしがお母さんに請求書を渡した場面。

ここでは、自分が行っているお手伝いに対するだれもが持っている子ども心に共感させる。

#### ②たかしがお母さんの請求書を見た場面。

お母さんの請求書から、母親の愛を感じ取り自分の幸せを願う母親の心について考えさせる。

#### ③たかしの目に涙があふれた場面。

お母さんの「子どもを想う愛」に触れたことでたかしの心が動き、自分自身を見つめているときのたかしの気持ちについて考えさせる。

以上の理由から、本主題を設定した。

## 4 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 教材への関心を深める。 ・「千春とわたし」で学習したノートを見返してみましよう。みなさんは「家族」のことをどう考えたでしょうか。	・人生でいちばん大切なもの ・わたしを生んでくれた恩人で、大切な人 ・尊敬しあう関係 ・一緒にいると楽しくなれる関係	・本時のねらいとする道徳的価値に迫るため前時のノートを見返し、本時の教材への関心を深め、話合いが活発になるようにする。
展開	2 教材を読み、話し合う。 (1)たかしがお母さんに請求書を渡したとき、どんなことを考えていたでしょうか。  (2)たかしはお母さんからの請求書を見たとき、どんなことを考えたでしょうか。	・お小遣いが増える。うれしいな。 ・お母さん、請求書どおりお金をくれるかな。 ・お手伝いしているのだから、お小遣いをもらって当たり前だ。 ・あれ？どういうこと？ ・お母さん、いろいろなことをしてしてくれたんだな。	・お手伝いに対しての子ども心に共感させる。  ・お母さんからの請求書が0円だった意味やお母さんが伝えたかったことについて考えさせる。

<p>(3) たかしは涙を流しながら、どんなことを考えていたでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんは大変な仕事をしていたんだ。</li> <li>・お母さんは働いても、お金をもらってないんだ。</li> <li>・いろんな場面でやさしくしてもらっていたんだ・・・</li> <li>・ぼくだけもらうのはおかしいな。</li> <li>・ぼくだけお金がほしいって言って申し訳ない。</li> <li>・ぼくのことを大切にしてくれてありがとう</li> <li>・ぼくだけお金が欲しいって言って申し訳ない。</li> <li>・お小遣いが欲しいなんていっはずかしい。</li> <li>・自分にも何かできることはないかな。</li> <li>・自分のことしか考えていなかった。</li> <li>・ぼくをずっと大事にしてくれていたんだ。</li> <li>・いろいろしてくれたことを思い出すな。</li> <li>・ぼくに似合う洋服をかってくれたっけな。</li> </ul> <p>3 自己を見つめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は、たかしの家族のお話でした。みなさんは、今日の学習を通して、自分の家族と過ごすとき、何を大切にしますか。そのために、自分ができることは何だと思えますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんは大変な仕事をしていたんだ。</li> <li>・お母さんは働いても、お金をもらってないんだ。</li> <li>・いろんな場面でやさしくしてもらっていたんだ・・・</li> <li>・ぼくだけもらうのはおかしいな。</li> <li>・ぼくだけお金がほしいって言って申し訳ない。</li> <li>・ぼくのことを大切にしてくれてありがとう</li> <li>・ぼくだけお金が欲しいって言って申し訳ない。</li> <li>・お小遣いが欲しいなんていっはずかしい。</li> <li>・自分にも何かできることはないかな。</li> <li>・自分のことしか考えていなかった。</li> <li>・ぼくをずっと大事にしてくれていたんだ。</li> <li>・いろいろしてくれたことを思い出すな。</li> <li>・ぼくに似合う洋服をかってくれたっけな。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族のことを想う心(妹とけんかをしないで仲よくする。家族みんなが楽しい)</li> <li>・家族にやさしくする心(お母さんに「ありがとう」という言葉をかけたい)</li> <li>・一緒にいる時間(みんなで過ごせるように食事の準備を手伝う)</li> <li>・お父さん、お母さんを大切にす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が考える素直な気持ちに互いが触れることができるよう、まずはペアで伝え合う。その後、全体での話合いに広げていく。</li> </ul> <p>☆子どもを想う親の愛について考え、自分の思いを伝えている。(ペア・発表・つぶやき・道徳ノート)</p> <p>☆子どもから家族へ「愛を伝える」ために何ができるか考えている。(道徳ノート・発表)</p>
--	--	---	--

		る心(もうすぐお誕生日がくるからお誕生日カードをつくってプレゼントする)	
終末	4 教師の説話を聞く。		

## 5 他の教育活動との関連

事前指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたしたちの道徳 小学校3・4年生」140ページを読み、道徳ノートに感想を書く。</li> <li>・教材文「お母さんのせいきゅう書」を宿題で読んでおく。(道徳音読)</li> </ul>
特別の教科 道徳	<p>教材名 「お母さんのせいきゅう書」</p> <p>たかしが流した涙の意味を考え、話し合うことを通して、自分の成長を願って家族が愛情をもって育ててくれていることを理解し、家族の一員として家庭生活により積極的に関わろうとする態度を育てる。</p>
事後指導	宿題プリント「ミッション 家族のためにがんばりたいこと」に取り組む。
家庭との連携	授業中に書いた道徳ノートを教室にある「道徳コーナー」に掲示し、授業参観の折に見ていただく。

## 6 板書計画

お母さんのせいきゅう書

家族

おぼとずる時間  
大事な時間

幸せ  
人生でいちばん大切

笑顔  
世界でいちばん

うれしい  
おこられるかな  
申し訳ない  
だいじょうぶかな

たかしのなみだ

お母さん かわいそう  
自分のために  
やさしくてえらい

おぼくだけいいの  
おぼくのために  
本当にやさしいな  
おぼくのしょうらい

## 7 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・「たかし」に自分を重ね合わせ、友達の見解を取り入れ考えを深め、話し合っている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・自分との関わりの中で「愛を伝える」ために大切にすること、できることを考えている。